

## 学校関係者評価委員会 議事録

事業名	職業実践専門課程 第1回学校関係者評価委員会
-----	------------------------

会議名	平成29年(2017年度) 第1回学校関係者評価委員会
開催日時	平成29年12月15日(金) PM6:00~PM7:00
場所	国際調理製菓専門学校 パティシエ館ブラン
出席者	学校関係者評価委員
	<p><b>【出席】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・株式会社鈴木コーヒー 松井翔</li> <li>・国際調理製菓専門学校 学校長 石田道子</li> <li>・国際調理製菓専門学校 教務部長 岡部亮</li> <li>・国際調理製菓専門学校 教務部長、兼栄養士学科長 竹内正明</li> </ul> <p><b>【欠席】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・株式会社マルゼン 長谷川政道</li> <li>・有限会社プレジール 永井優</li> </ul>
会議内容	<p><b>【次第】</b></p> <p>① 学校長挨拶 : 学校長</p> <p>② 学校評価委員の紹介 : 学校長</p> <p>③ 平成28年度 就職状況報告 平成29年度 教育活動報告(経過報告) : 岡部 別紙: 国際調理製菓専門学校 平成29年度教育活動一覧、就職内容実績報告2017 を使用しながら説明</p> <p>④ 栄養士学科の紹介 : 竹内</p>
議事録	<p>株式会社鈴木コーヒー 松井翔氏</p> <p>教育実績でも記されているように国際調理製菓専門学校の最大の特徴は多様な教育内容によるところが多い。特に実践教育においては学生自らが率先して企業との関わりを持つなど他校にはない教育内容の充実が素晴らしいと考えられる。</p> <p>国際調理製菓専門学校 竹内正明</p> <p>学校自己評価報告の数値にもあるように、学校の理念としての職業教育の推進や職業教育に対する外部評価の導入が積極的に行われている。内部の教職員も十分に理解し企業連携を行っているため、自己評価報告の中でも非常に値が高くなっている。今後も学校として職業教育を推進し、積極的な企業連携を行っていきたいと考えている。</p>

以上

## 学校関係者評価委員会 議事録

事業名	職業実践専門課程 第2回学校関係者評価委員会
-----	------------------------

会議名	平成29年(2017年度) 第2回学校関係者評価委員会
開催日時	平成30年3月26日(月) PM6:00~PM7:00
場所	国際調理製菓専門学校 パティシエ館ブラン
出席者	学校関係者評価委員
	<p><b>【出席】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・株式会社鈴木コーヒー 松井翔</li> <li>・有限会社プレジール 永井優</li> <li>・国際調理製菓専門学校 学校長 石田道子</li> <li>・国際調理製菓専門学校 教務部長 岡部亮</li> <li>・国際調理製菓専門学校 教務部長、兼栄養士学科長 竹内正明</li> </ul> <p><b>【欠席】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・株式会社マルゼン 長谷川政道</li> </ul>
会議内容	<p><b>【次第】</b></p> <p>⑤ 学校長挨拶 : 学校長</p> <p>⑥ 前回会議での指摘事項に対する回答 : 学校長</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人間力育成について</li> <li>・人材不足について</li> <li>・早期退職について</li> <li>・企業連携について</li> </ul> <p>⑦ 平成29年度 就職状況報告          平成29年度 教育活動報告          平成29年度 学校アンケート総括          別紙: 国際調理製菓専門学校                  平成29年度教育活動一覧、就職内容実績報告2017                  平成29年度学校アンケート を使用しながら説明</p> <p>⑧ 教育課程編成委員からの意見聴取 : 学校長</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶の必要性</li> <li>・インターンシップについて</li> <li>・人材不足</li> <li>・AIの今後</li> <li>・人材の県外流出</li> </ul> <p style="text-align: right;">などについて意見を聴取</p>

議事録	<p>株式会社鈴木コーヒー 松井翔氏</p> <p>年間を通して実践的な教育内容が多いため学生の満足度は非常に高いのではないかと考える。特にインターンシップ研修は非常に充実しており 2 週間のインターンシップを 3 回も行うことで早期に就労感を身に着けることができる。自分自身も成長できたため在校生にも有効活用をしてもらいたいと考える。</p> <p>有限会社プレジール 永井優氏</p> <p>製菓の業界の繁忙期は 12 月をピークに 5 月までであるため就職後に必要な知識や技術だけでなく、体力や精神面の著しい成長も必要になってくる。在学中にそういった能力も養い就職することによって業界全体が活気づくのではないかと考える。</p> <p>国際調理製菓専門学校 学校長 石田道子</p> <p>年間のスケジュールを見ると一目瞭然ではあるが各学科がそれぞれの特色に応じて多様な教育カリキュラムを持っており 2 年間で有効に活用しながら学生を大きく成長させることができるのが当校の最大の強みである。今後も OB、OG の方々が築いてくれた教育実績を礎に、少しずつでも学校全体が成長していけるように指導を行っていきたい。</p>
-----	--

以上